

市議会だより おおまち

183号

令和3年8月1日発行

6月定例会号



議会だよりライブラリーで過去の
議会だよりも見ることができます

特集 | 大町市議会新体制…………… 2～4ページ
委員会審査報告…………… 14～16ページ
みんなのひろば…………… 18ページ

表紙写真 | 青空のもとで米作り

八坂の棚田で田植えをする山村留学生。
今では、ほとんど見られない光景ですが、
みんなで協力しながらの作業の姿は、輝
いていて頼もしく見えました。

撮影者：議会だより編集委員会



新正副議長に聞く

5月10～11日の2日間、5月臨時会において正副議長選挙が行われ、新しい正副議長が就任しました。新体制となった大町市議会の舵をどうとるか、正副議長の思いをうかがいました。

市民益を求め 責務を果たす！



議長
二條 孝夫

平成19年4月初当選
(現在4期目)

社会厚生委員長、副議長、議長、議会運営委員長等 歴任

議会の最大の使命は、市民益の向上のために、行政をチェックすること。行政が市民益に反していないか、監視、チェックをしていくことが最大の責務と考えます。議会は16人の多様な意見の集合体ですが、市民益に通じる、一つの意見を導き出していく過程が、なお一層大事だと考えています。

議会の一番の課題は何でしょうか？

議長 行政のチェックと、市民益につながる政策を提言することが議会の最大の使命。昨年は委員会・議会より政策提言が出されていますが、これをさらに推進していきたいですね。

副議長 議員個々の活動に加え、議会としての活動、意思を今以上にらせる組織でなくては。

議長 そうですね、当たり前議会として政策提言できる仕組みが必要ですね。これまで、毎年事務事業評価^{※1}を行い、評価結果を行政に投げかけてきましたが、それが翌年度事業に反映したかを検証できていない。この途切れているサイクルを回し、委員会代表質問^{※2}、さらに政策提言にまでつなげたいですね。

※1 前年度事業のうち特に検証が必要と考えるものを選び評価・検証している
※2 各常任委員会の代表が、委員の共通課題とする事案について一般質問すること

副議長 事務事業評価は常任委員会のメンバーで行うわけですから、評価結果を掘り下げれば、委員の共通課題として委員会代表質問に繋げていけると思います。私が課題と考える、常任委員会の強化にもつながります。

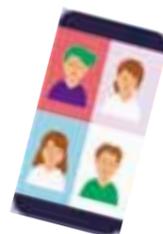
議長 副議長のいう常任委員会の強化と、私の考える委員会代表質問の継続、これは課題としては同じ。常任委員会の強化なくして、委員会代表質問の継続は難しいです。

市民の意見や思い、どう掴みますか？

議長 議会運営委員会に諮問をし、実現できればという段階ですが、陳情の主旨を、陳情者が説明できる場を創設したい。また毎年度実施している市民との意見交換会が、昨年度はコロナの影響で開催できなかった。今年度は副議長が委員長を務める政策調整委員会を中心に進めていってほしいです。

副議長 意見交換会もオンラインで、という案もあります。まず議員研修として、オンライン会議の講習会ができれば。これから政策調整委員会で検討する段階ですし、前議長が推進したワークショップ形式^{※3}でのざっくばらんな意見交換会は、オンラインでは難しいかもしれません。

※3 小グループに分かれ意見を出し合う参加者主体の会議形式



議長 いかに関心と市民の距離を縮めるか、それには議会がどんどん市民に近づいていかないと。コロナの影響下、どうやったらできるか、できることはないかを前向きに考えていきたいですね。

この任期にける思いをお聞かせください

議長 議会における政策サイクル(PDCA)の実施を議会運営委員会に諮問したいと考えています。

議員それぞれでとらえ方は違うが議会でのPDCAは、

P = 予算・決算審査方法の計画、事務事業評価の対象の決定
D = 決算審査・事務事業評価の実施
C = 決算審査結果を行政へ、事務事業評価の評価結果の報告
A = 予算審査の実施、事務事業評価の結果回答の検証、政策提言、委員会代表質問の実施

と考えています。



PDCAとは、事業を継続的に改善していく手法のこと

副議長 開かれた議会を目指し継続している議会改革ですが、今は新たな取り組みの成熟度を上げていく時。委員会代表質問しかり、新たな方式の意見交換会しかり、事務事業評価・決算審査から政策提言に繋げることしかり。そのために、やはり常任委員会のさらなる強化を進めたいですね。

議長 議員個々の活動を、さまざまに関心を持ってやるのも大いに結構ですが、ばらばらのベクトルが一つの方向を向いたときに持つ大きな力を、政策提言、委員会代表質問という形で発揮できるように、その舵取り役ができればと考えています。

副議長 議長と同じく、常任委員会が非常に重要と認識しています。チーム議会として大きな力を発揮できるよう、常任委員会の活性化に尽力したいと思います。

チーム 大町市議会を 目指して



副議長
降旗 達也

平成27年4月初当選
(現在2期目)

総務産業委員長、社会厚生副委員長、政策調整副委員長等 歴任

平成19年度より、市民に身近な開かれた議会を念頭に進めてきた議会改革をさら進め、今まで行ってきた改革をより自分たちのものにしていくために、成熟度を上げていきたいと思っています。大町市民のために何ができるか、何をしていくべきなのか、しっかりと考えていける、チーム「大町市議会」を目指します。

各委員会 委員の紹介

各委員会の新しい構成メンバーを紹介します。この新体制で市の課題解決に取り組んで参ります！
◎は委員長、○は副委員長です。

総務産業委員会



大和幸久 大厩富義 二條孝夫 宮田一男
岡秀子 ◎傳刀健 ○太田昭司 山本みゆき

社会文教委員会



高橋正 神社正幸 中牧盛登 降旗達也
一本木秀章 ◎平林英市 ○中村直人 大竹真千子

議会運営委員会

- ◎大厩 富義
- 山本 みゆき
- 大竹 真千子
- 傳刀 健
- 平林 英市
- 大和 幸久
- 岡 秀子

議会だより編集委員会

- ◎高橋 正
- 大竹 真千子
- 傳刀 健
- 太田 昭司
- 宮田 一男
- 平林 英市
- 大厩 富義

臭気対策特別委員会

- ◎大和 幸久
- 大竹 真千子
- 降旗 達也
- 太田 昭司
- 二條 孝夫
- 平林 英市
- 岡 秀子
- 大厩 富義

情報化推進特別委員会

- ◎大竹 真千子
- 中村 直人
- 傳刀 健
- 降旗 達也
- 太田 昭司

交通網対策特別委員会

- ◎神社 正幸
- 宮田 一男
- 中村 直人
- 山本 みゆき
- 傳刀 健
- 一本木 秀章
- 中牧 盛登
- 高橋 正



一般質問

一般質問は「代表質問」と「個人質問」があり、代表質問には、各会派の代表が行う「会派代表質問」と、委員会の代表が行う「委員会代表質問」があります。

特別支援教育の状況と安曇養護学校分教室設置の動き



政友クラブ 岡 秀子おか ひでこが問う

インクルーシブ教育※①の実践とは

問 インクルーシブ教育システム構築に向けた特別支援教育の推進状況は。

答 昨年度末、小・中学校で発達障がい等の児童生徒は300名以上でそれぞれ支援学級や通常学級に在籍している。就学支援委員会が課題のある児童生徒に包括的な支援を行っている。言語等の支援は、西小のことばの教室^②。学習機能等の支援は、

南小と仁科台中にある「まなびの教室」で専門的な指導も行っている。通常学級では学習支援員が支援している。課題を抱えていても、広範な友達と交わり、社会性を身につけて成長できる環境を整備することで構築に繋がっていききたい。

問 安曇養護学校の、大町以北からの通学は、スクールバスを使うが、乗車時間が長く、体力的に負担が大きい。大町、白馬、小谷の子どもたちが通える分教室の設置を保護者等から要望されている。県立校ではあるが、市内の学校を使用するとの事である。安曇養護学校大町分教室設置に向けた取り組み状況は。

答 市長会でも議題に上がり、市教委も設置を要望してきた。西小の空き教室を活用し、6人程度受け入れる方向性が県教委より示された。通常学校の活用は、ハンディを越えて交流の輪が広がる。インクルーシブ教育の実践に繋がる。

地域共生社会に向けて

問 インクルーシブ公園^{※②}導入への考え方は。

答 SDGsに連動し、意義あるものと認識している。導入に向け検討していく。



ことばの教室があり、県立安曇養護学校大町分教室設置が予定されている大町西小学校

※用語解説

- ①インクルーシブ教育 心身に様々なハンディや課題を抱えた児童・生徒と健常な児童・生徒が共に助け合い協力しながら成長していく教育
- ②インクルーシブ公園 障がいのあるなしに関わらず、皆と一緒に遊ぶことができる遊具等が設置された公園

市民へのワクチン接種が
終わるまで待つてみては



市民クラブ 中牧 盛登が問う

芸術祭 再延期も選択肢

問 第2回北アルプス国際芸術祭の開催日、8月21日を再延期する選択肢はあるか。
答 再延期する選択肢もあると考える。現在、コロナワクチン接種に市の総力を挙げて取り組んでいる。市民の中には感染拡大を心配する声があることは十分承知しており、ワクチン接種が一定程度進むことで安心して芸術祭を迎えられるならば、会期の見直しは検討すべき選択肢と考えている。
問 実行委員会では、開催・延期・中止とするなど最終的な判断は、いつと考えているのか。
答 6月中に実行委員会総会に諮り、最終的な判断をしたいと考えている。
問 芸術祭を2ヶ月ほど延期するとした

市民の圧倒的意見は
「コロナ禍での開催は中止だ」



日本共産党 大町市議員 平林 英市が問う

コロナ禍での芸術祭は中止せよ

問 感染力や症状が悪化する変異株のウイルス感染が広がっている現状だ。感染拡大地域からくる無症状者の対策を示せ。
答 検温・手洗い・消毒・入場制限などで対応する。
問 感染を防ぐとした根拠は何か。
答 感染が拡大するか否かは市として特別な情報を得ていない。感染症対策特別会は芸術祭関連施設でのリスクは高くないとしている。
問 実行委員長の牛越市長は「市民の命・健康・安全」と「地域経済の再生」のどちらを重視して優先させるのか。
答 比較出来ない。どちらも重要だ。
問 市長の責務は何をおいても市民の

交通手段のない人は
自由な経済活動すらできない



創生みらい 傳刀 健が問う

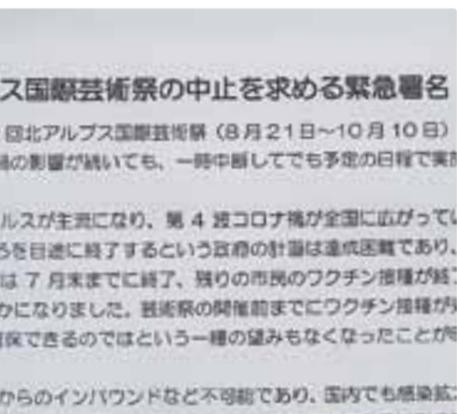
交通手段確保は 必要経済対策！

問 市民バスデマンド(乗り合い)のエリア拡大、今後の展開は。
答 常盤東地区での定着を図り、他地域や関係団体への説明会を開催の上、検討していく。
問 昨年実施した高齢者外出支援タクシー事業は75歳以上世帯のみを対象としたが、申請率・利用率が低いなぜか。
答 コロナ禍により外出を控える傾向があった、また自分で運転する方もいた。
問 真に支援を必要としている高齢者に支援が届いているか疑問。移動手段のない方について、関係各課で連携し調査する必要があると思うがどうか。
答 これまでの事業を検証し、必要な情



順調に進むワクチン接種会場
中央保健センターの様子

時に想定される大きな問題点とは何か。
答 仮に延期するとした場合の大きな問題点は、延期に伴う費用の増加や作品展示場所等を延長して確保するための所要の手續き、そして、広く告知する周知・広報の徹底の大きく3点があげられる。
問 コロナ禍で芸術祭を開催するにあたり、市民意識をどのように捉えているのか。
答 市民の中には、芸術祭に多くの人が訪れることにより、市内で感染が拡大することを心配する声があることは十分承知している。
問 芸術祭開催の目的を達成するための数値目標はあるのか。
答 パスポート販売目標は2万1千枚、来場客数は5万5千人を目標としている。



コロナ禍での「芸術祭の中止を求める署名」に
短期間で1200人以上が賛同した

「命と健康と安全を守ることだ。市民意向調査では「経済活動重視よりも今は命が大事であり、芸術祭をやめるべきだ」との意見がある。
答 地域の活力再生に向けた取り組みは待ったなしの喫緊の課題だ。
問 無症状者からの感染を防ぐ徹底した対策は、入場者全員のPCR検査の実施は。
答 入場者にPCR検査を行うことは人権侵害につながりかねない。
廃止する市営住宅の入居者保証は
問 市の都合での移住だ。経済的理由で移住が困難な入居者は家賃補助をすべきだ。
答 負担軽減の方策について検討する。
問 強制的な退去の実態はないか。
答 退去を強く求めることはしていない。



高齢化率県内トップの大町市だからこそ、
高齢者の消費活動が今の大町に必要である

報を共有し連携を深めていく。
問 大町病院の産科休止に当たり、妊婦の通院負担が大きい。妊娠期間を安心して過ごすため、支援策が必要と思うがどうか。
答 要望を聞きながら、市外の医療機関までの移動も含め、必要な支援について検討し、環境整備に努める。
問 これまで自由に外出できなかった方たちが、気軽に外出し消費活動を行うことこそコロナ禍における地域経済を立て直す必要と思うが、市長の考えは。
答 公共交通の整備は、地域活性化のための重要な戦略の柱である。気軽な移動手段は利便性を高め、地域消費にもつながる。都市機能が集積した生活空間の整備を目指し、活力に満ちた地域社会実現に取り組む。



コロナワクチン接種を全ての希望者に！

公明党 太田 昭司が問う

コロナワクチン接種の状況は

問 接種会場に行くことのできない人のために訪問接種を行うことはできないか。

答 既に41名に対し実施している。今後も接種希望者の事情に応じて訪問接種や接種会場への移動の支援を実施する。

問 接種を希望する障がい者への合理的配慮[※]を十分講じてほしい。例えば手話通訳の配置、筆談ボードの使用、また車いす利用者の会場内の移動に配慮を求めます。

答 個々の障がいの状態に応じた接種会場の案内、手話通訳の配置、スタッフによる介助の支援体制整備、また車いすの動線の確保や車いすの移動距離を最小限にとどめるなどの対策を講ずる。

問 接種予約者のキャンセルによるワクチンの廃棄が問題となっている。ワクチンの廃棄を防ぐ対策が必要ではないか。

答 キャンセルが発生した場合に接種できる人を事前に登録する「キャンセル待ちバンク制度」の創設を計画している。



未来都市計画の進捗状況と温暖化による豪雨災害対策は

政友クラブ 一本木秀章が問う

SDGs未来都市計画って何

問 大門市におけるSDGs未来都市計画の進捗状況と目標達成の見通しは。

答 この計画では「安定した雇用の場の確保と新規事業を支援する」、「大町らしさを活かして新しい人の流れを作る」、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「安心安全な暮らしと時代に合った地域を作る」ことを4つの基本目標としているが、現下のコロナの影響を大きく受け、当初計画した指標に達するまでには至っていない。市としては、この計画に基づき、人口減少などの問題解決や地域経済の再生、持続可能な地域づくりに向けて、今後も継続的に取り組んでいく。

問 SDGsの取り組みを市民の自発的な行動に結びつけるためにどのような取り組みのかが。

答 市民がSDGsの取り組みに参加するために、SDGsと市の未来都市計画の理念や意義、目的を理解してもらうことが重要と考える。様々な広報活動を展開しているが、未だ広く理解されるには至っていない。あらゆる機会を通じて、SDGsの取り組みを紹介し、具体的な活動に参画いただけるよう努める。



空洞化抑制策と合わせて空き家対策にスピード感を

政友クラブ 大竹真千子が問う

空き家増加率は19市中1位に

問 現在までの、中心市街地の空洞化の抑制策、集約的都市構造へ向けた誘導策に対する具体的な取り組みの状況は。

答 空き不動産等の実態調査、それらを活用した産学連携の共同研究事業の促進、空き家等のリノベーションによるまちづくりに関わる人材のネットワーキング構築事業、街中の緑地整備事業を進めてきた。昨年からはまちづくりに取り組む人材集積と育成により地域力向上を図ることを目的とした事業に着手。誘導策としては用途地域の指定による適正な土地利用の推進、マスタープランの策定による土地整備を進めてきた。

問 空き家バンク制度は更なる改善が必要と考えるがどうか。具体策などはあるか。



コロナワクチン接種の希望者が「誰一人残さず」接種ができるよう、きめ細かな対応を

問 貧困等の理由により生理用品を買えない女性が増えている。例えば防災備蓄用の生理用品を、使用期限が近づいているものから配布することはできないか。

答 防災備蓄用の生理用品を活用し、生活困窮者の窓口である「まいさぽ大町」を窓口として配布するとともに、家計相談やフードドライブ等とも合わせ、総合的に相談対応できるように検討する。



長野県内の市町村で初めて大門市がSDGs未来都市に国から選定された

問 温暖化による豪雨災害への対策は。

答 土砂災害警戒区域を土砂災害ハザードマップに掲載し、関係する自治会や住民に周知し、定期的に危険個所の巡回を行う。



防止策として他地域で配布される啓発冊子。空き家にさせない工夫も重要。

問 流通に乗せられない物件を流通に乗せるための支援策として「空き家流通促進事業」を創設。片付け、清掃、リフォームに要する補助金制度を拡充し、空き家バンク制度の補完を図ることとした。

問 他行政では協議会で空き家の活用を進める取組みがある。当市の予定は。

答 本年2月に「空き家等利活用連絡協議会」設立に向けた準備会を開催。今後も協議会設立に向け、研究を進めていく。

問 空き家所有者への情報提供や管理指導等の冊子配布など、空き家にしないための防止策に取り組む考えはあるか。

答 「空き家の予防と活用」と題したセミナーを3月に実施。16名の参加があった。継続的な働きかけや啓発に努めていく。

用語解説

- ③合理的配慮 役所や事業者などが、障がい者からバリアを取り除くための対応を求められた場合にとる、可能な限りの（合理的な）対応。
- ④生理的貧困 経済的困窮や、親や配偶者の無理解・虐待などにより、生理用品を入手できないこと。

一問一答形式で質問する議員1人の持ち時間は20分以内と決められており、行政側の答弁を含めると、およそ50分程度となります。

芸術祭の再延期表明、主催者の見通しの甘さに反省は



無所属クラブ 大和 幸久が問う

命と健康を優先 芸術祭は中止を

市民の命と健康を守るコロナ対策は何か

問 今日まで、日本国内でコロナ感染が第4波まで起きて、パンデミックを終息できなかったのは、広汎な抗原検査やPCR検査で「無症状の陽性者を発見・隔離」する対策を取ってこなかったためだ。芸術祭の実施に当たっても参加者や運営スタッフに対して、抗原検査やPCR検査を実施できる体制が無ければ、その命や健康は守れないことになる。芸術祭は中止すべきだ。
答 PCR検査を強制することは人権侵害に当たりできない。体温検査で平熱の人にはリストバンドをして入場させるなど、通常の感染対策を行う。

人口減少で2040年には小学生は600人だ



市民クラブ 大原 富義が問う

西小の活用は どう検討したか

旧市内の小学校2校制は、何年先を想定しているか。

答 現段階では判断できない。当面は2校制を想定している。
問 小学生の数を社人研[※]の人口推計を基に計算すると2040年には607人だ。人数だけで言えば市内に1校で足りる数だ。そうなる西小の活用は考えられないか。
答 当市は南北に長く面積が広い。小学校を1校にすることは、通学時間がかかり保護者からの賛同は難しい。学校の再編は人数だけでの判断では困難。
問 八坂・美麻地区の小中学校はいつまでを想定しているか。

子育てに必要な支援は 時期を逃さず行う必要がある



政友クラブ 山本みゆきが問う

子育て支援日本一を目指すには

4月から始まった「子ども家庭総合支援拠点」について、子育てに必要な支援を速やかに行うための連携が必要ではないか。

答 支援が必要な家庭の情報を関係機関と共有するための情報共有システムを構築し、保健センターや教育委員会、福祉課など対応情報を共有できるように取り組む。
問 人口が増加している南箕輪村の子育てハンドブックは、子育てに必要な情報が分かりやすい。大町市にも子育てに寄り添ったハンドブックがあれば役立つのでは。
答 一冊で、妊娠期から子育て期までの情報が得られるハンドブックの作成は、大変有効と思われる。早期の作成を検討する。
問 子育て女性の再就職のため、仕事と



今は、ワクチン接種に全力を挙げるとき

問 PCR検査は人権侵害という見解は間違いだ。本人の同意が前提であり、この実施態勢が無ければ感染拡大は防げず、参加者の命や健康は守れない。
答 いま市内で感染拡大はなく、従来の手指消毒や検温を徹底する方針だ。
問 芸術祭開催の8月21日までにワクチン接種は間に合わず、ワクチンの効果も期待できない。感染リスクが極めて高く中止しかない。こんな状況で小中学生の芸術祭見学を強制するなど、教育行政の自殺行為であり、同様に中止すべきだ。
答 8月21日では、市民全体の50%しか進まず見直す。今、中止や延期は言えない。



西小桜並木の下を登校する子どもたち。人口減少は、教育環境にも影響か。

答 山村留学の受け入れによる成果や地域との関わり等があり、現時点では明確な時期を答えることは困難だ。
問 山村留学は、受け入れ農家の高齢化が課題となっているがどう考えているか。
答 地域の皆さんへ働きかけをしているが困難だ。今後努力していく。
問 再編基本計画案では、八坂・美麻地区は「現行どおり」としているが、「当面現行どおり」ではないのか。
答 計画の段階で検討する。
問 社地区からは、約60人が南小へ通うこととなる。どのように考えているか。
答 バス通学で2台程度を考えている。
問 南小校舎の建て替えの考えは。
答 令和7年以降を目途に、施設のあり方の検討に着手していく。



4月から市役所内に親子相談室と、授乳室ができました。親子で安心して利用できます

家庭の両立に関するサポートはできないか。
答 県では市町村と連携し「女性の就業支援事業」として居住地で対面の相談支援を行っている。また市では県のジョブカフェ信州と共催し、子育て世代と若年者を対象に月一回、市役所内で無料就職相談を開催。そのほか子育て中の女性の就業支援として、市創業支援協議会で運営の「北アルプスエントランス」内にテレワークルームを整備しフルタイムでの就労が困難な子育て中の女性に、仕事と家庭が両立でき安心して働ける場所の提供もしている。知っていただけるように努める。
問 子育て日本一を目指す市長の思いは。
答 子どもたちの健やかな成長のため子育て支援を基軸にしたまちづくりを目指す。

※用語解説

⑤社人研 国立社会保障・人口問題研究所の略

質問しようとする議員は、「何について、どんな問題意識で」質問するのかを予め通告しています。これは、行政側から噛みあつた答弁(公式の見解)を得るためです。

芸術祭開催の先に、市民の喜ぶ顔は見えていますか？



創生みらい 降旗 達也が問う

芸術祭の問題点・課題は何か

問 芸術祭開催に当たり問題点と課題は、

答 一部の海外作家のスケジュールが不透明であることや、ボランティアアサポーターの人手不足などである。一番の懸念は、市民が、芸術祭開催に伴う来場者の受け入れに、不安を感じていることである。

問 仮に延期になった場合の課題は、

答 延期の仕方によっても課題は変わるため、様々なケースを想定しなければならぬ。延期に伴う費用増加の可能性、期間変更に伴う来訪者等への情報提供が一番の課題。

問 市民や市職員の芸術祭に対する盛り上がりは全く感じられない。市職員の意識や熱を上げていくのは、庁内で職員の上

立つ副市長の役割だと思いが如何か。また、市長は北アルプス国際芸術祭を開催することで、市民の喜ぶ顔がしっかりと見えているか。

答 (副市長) やらされているという意識ではモチベーションが上がらないことは理解している。前回の芸術祭を経験したことで、職員の中に意識の高まりについての素養や素地はあると感じている。長丁場なので、これから意識の盛り上がりとともに職員の体調管理についてもしっかりと行う。

答 (市長) 市民の安全安心を守ることを、健康と命を守ることを最優先の課題として、ワクチン接種の状況と感染状況をしっかりと見極め、実行委員会において慎重かつ柔軟な開催のあり方を検討し、市民にとっても安全で安心してもらえ環境の中で、芸術祭を開催したいと考えている。



第1回北アルプス国際芸術祭を超えることはできるか？

児童生徒・保護者・教職員の声を聴いて進める



日本共産党 宮田 一男が問う

学校再編は急がず再検討を！

問 令和5年に旧市内2校の中学校を、

答 仁科台中学校を使用しての1校にする方向で学校再編が進んでいるが、現場の教職員からは、教室(理科室・特別支援学級などが足りなくなり、時間割が組めない等の声)が上がっている。どのように対応するのか。

答 令和5年度には、1から2クラス不足する可能性はあるが、学級間、教科間で相談して対応し、普通教室の使用も考える。特別支援学級は、多目的教室等を間仕切りする等により対応する。

問 今回の学校再編は、統廃合ではないとしている。統合でないのなら、全ての学校を一旦閉校にすることか考えるが、閉校のスケジュールがないのはなぜか。

答 旧市内の学校は一旦閉校し、新しい学校として開校する。閉校行事は、関係者と検討して行く。

コロナ下での芸術祭は中止を

問 パスポートの総販売目標の4分の1が市職員の販売となっている。パスポートの販売は、業務になるのか。

答 市職員がパスポート販売に協力する行為は、業務に該当せず、万が一事故等にあっても公務災害に該当しない。

問 事故やケガは、自分持ちとなる。過大で、無理のある市職員へのパスポートの販売協力方式を、改められないか。

答 指摘の方式は、実務的に困難だ。



市職員に販売の協力依頼をしているパスポート

ワクチン接種状況と、新院長のビジョンは



政友クラブ 中村 直人が問う

未来へ繋ぐ大町の医療体制

問 ワクチンの接種状況はどうか。

答 65歳以上の高齢者への接種は7月末までに完了見込み。6月下旬からは64歳以下の基礎疾患をお持ちの方の受付を開始。一般の方も7月には予約を開始。

問 突然のキャンセルなどによるワクチン廃棄の問題について、当市の対応は、

答 キャンセルが出た場合、予約日が決まっていない方に順番に連絡している。今後、キャンセル待ち登録制度も設ける。

問 コロナ禍でありながら、大町病院令和2年度の決算見込みが計画どおり赤字となったのは、職員の皆様の努力あつたこと。前回の質問で職員のストレス状況について伺った。特に負担が集中する部署に

対し、人事配置の再考などを行えないか。

答 特に看護師の負担が大きく、人的資源を集中させるなどの対策を講じている。

問 新院長として、この時期に呼吸器病学専門の藤本先生に来て頂いた意義は大きい。ビジョンと抱負は、

答 少子高齢化社会の中で、市民の皆さんが安心して暮らしていける地域を目指し、大町病院がケアシステムの中心を担う。経営改善、感染症への対応、人材の確保などへも、職員と力を合わせ取り組んでいく。

問 地域包括ケア環境構築のため、医療と介護をどう繋げていくか。

答 従来のカンファレンスに加え、スマートフォンなどを活用し、多職種間で情報の共有を行う試みを始めた。



信大から招いた新院長の藤本圭作先生。呼吸器の専門のほか、睡眠についても専門である。

議員が質した6月定例会

こんなことが決まりました！

陳情第7号 国際芸術祭の中止を求める陳情

芸術祭、中止か決行か！延期か！

■結果 賛成少数で不採択

議案の概要
開催予定8月までに、市民にワクワクが行き届かない。一刻も早い中止と、事後対策を求める陳情。

委員会審査

問 感染対策特別部会から、先日のプレイベントでの感染防止策に一定の評価を得たとのことだが、対策は万全といえるか。

答 部会からの意見で感染対策マニュアルを見直し、実際の現場も見てもらうなかで、これなら大丈夫だろうという意見を頂いた。

最終口頭論

原案に反対

コロナ経済対策としての芸術祭 私たちに生きる力を与え、生活

の基盤となる経済の再生を促す芸術祭こそ最大のコロナ対策。最大限の感染対策を行ない、開催時期延期も考慮に入れ準備を進めるべき。(太田)

延期はあり得るが中止は無い

ウイルス蔓延への懸念は理解できる。医療の専門家をアドバイザーに迎えた特別部会の声を聞き、ワクワク接種の状況などを踏まえた判断を望む。(中村)

芸術祭中止は手段を尽くした上での最終判断とすべき

すぐに中止という発想に陥るのではなく、万全な感染対策を講じ、

安全と安心を確保した上で、知恵と工夫を結集し、開催の道を探るべきと考える。(大竹)

原案に賛成

市民の命を守るために中止を

「芸術祭を考える会」は1200名以上の芸術祭中止の署名を集め市民の意見を聞いた。「巨額の税金で一部の人が利益を得るだけで、町中が潤っていない」。コロナの危険もあり中止をすべきとの声が多い。(平林)

再延期ではなく中止の決断を

市経済の疲弊は、新型コロナによるもの、芸術祭を延期したからではない、芸術祭関係者に混乱をもたらす延期ではなく、一旦中止の決断が最良の選択である。(宮田)

コロナ感染拡大中の芸術祭は中止を
芸術祭前の東京五輪は、一日最

大20万人、チケット27.2万枚で巨大な人流を引き起こす。このコロナパンデミックを芸術祭はもろに受ける。デルタ株の大流行もあり中止しかない。(大和)



人数制限を設け、手袋・マスク着用で鑑賞(プレイベント屋内作品)

議案第47号 令和3年度一般会計補正予算

テレワークと観光で移住体験

議案の概要
まちづくり交流課所管
テレワークを体験しながら、休日は市内観光を楽しむプログラム「信濃大町ワーケーション事業」のため定住促進協議会へ負担金を支出。
■補正額 200万円

委員会審査

問 事業の内容や補助期間は。地域活性化センターの補助金を利用し、テレワーク体験と併せ、大町の観光体験をしていただく。単年度事業だが、ワーケーションのノウハウを民間事業者に伝達し、新たなビジネス展開を図る。費用対効果を検証し、今後については検討する。

「みずのわ」の広がり期待

議案の概要
企画財政課所管
水ブランド、SDGsの取組みをPRするスポットCM広告経費にかかる補正。
■補正額 220万円

委員会審査

問 CMの内容は。民間放送局が開局記念として制作する北アルプスの水をテーマとした番組でのスポットCMである。
答 どのような効果を見込むか。大町を知ってもらう機会となる。みずのわプロジェクトに賛同いただける事業者の呼び込み効果を期待する。

少子化対策！結婚新生活を支援

議案の概要
まちづくり交流課所管
共に39歳以下で、合計所得が400万円以下の夫婦に対し、30万円を助成する。令和3年度は5組を予算計上。
■補正額 150万円

委員会審査

問 5組は少ないと思うが、支援希望者すべてが補助を受けられる体制になっているのか。公平性は担保されているのか。
答 国と県を通じての事業であり、予算以上に要望がある事業だとすれば、県に対し予算措置をしていただくよう要望していく。

■結果 賛成多数で可決

※ワーケーションはワーク+バケーションの造語。観光地など遠隔で仕事をしながら、休暇も取る過ごし方



結婚新生活と市内定住を支援



令和3年6月定例会 提出案件の審議結果

議案・陳情の原案に対して「賛成は○」「反対は●」で表示
議長は議事進行のため「賛成」「反対」の意思表示はしない

◇賛否が分かれた案件

議案番号等	案 件	議員名														結果		
		日本共産党	無所属クラブ	市民クラブ	政友クラブ				性まがい	公明	無							
		宮田 一男	平林 英市	大和 幸久	高橋 正	中牧 盛登	大庭 富義	中村 直人	山本みゆき	大竹真千子	一本木秀章	岡 秀子	二條 孝夫	降旗 達也	傳刀 健	太田 昭司	神社 正幸	
議案第47号	令和3年度大町市一般会計補正予算(第3号)	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	原案可決
陳情第7号	第2回北アルプス国際芸術祭の中止を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	不採択
議案第48号	大町市手数料条例及び大町市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	原案可決

◇全会一致で可決・同意・採択された案件

議案番号等	案 件	結果
報告第3号	令和2年度大町市病院事業会計補正予算(第7号)	承認
報告第4号	大町市税条例等の一部を改正する条例	承認
報告第5号	大町市都市計画税条例の一部を改正する条例	承認
報告第6号	大町市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化を図るための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	承認
報告第7号	大町市過疎地域自立促進特別措置法に基づく固定資産税の課税免除の経過措置に関する条例を廃止する条例	承認
報告第8号	令和2年度大町市一般会計補正予算(第18号)	承認
報告第9号	令和2年度大町市国民健康保険特別会計補正予算(第7号)	承認
報告第10号	令和2年度大町市後期高齢者医療特別会計補正予算(第5号)	承認
報告第11号	令和2年度大町市公営簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)	承認
報告第12号	令和2年度大町市病院事業会計補正予算(第8号)	承認
報告第13号	令和3年度大町市一般会計補正予算(第1号)	承認
報告第14号	令和3年度大町市一般会計補正予算(第2号)	承認
議案第45号	監査委員の選任について	同意
議案第46号	大町市公民館条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第49号	令和3年度大町市一般会計補正予算(第4号)	原案可決

コロナで収入減の子育て世帯を支援

議案の概要

子育て支援課所管

子育て世帯生活支援給付事業はコロナ禍の影響を受ける非課税世帯に、一人5万円を給付するもの。給付金とシステム改修にかかる補正。

■補正額 2千800万円

委員会審査

問 2千800万円のうち、システム改修280万円について伺いたい。

答 既存の児童手当のシステムに、非課税世帯を抽出するための仕組みを付け加える改修である。



保育園の安全と保育士の負担軽減を

議案の概要

子育て支援課所管

各園の消毒委託業務の回数を増やすための補正。保育士の負担軽減にもつながる。

■補正額 124万円

委員会審査

問 保育園の職員が消毒清掃業務に当たるのは負担にならないか。

答 職員の負担軽減のための予算である。職員による作業は可能な場合のみ実施している。



業者による園の消毒作業

地域住民の参画で教員の負担軽減を

議案の概要

学校教育課所管

中学校の部活動指導員への報酬に係る補正。教職員の働き方改革の一環として平成30年度から取り組んでいる。

■補正額 108万円

委員会審査

問 部活動指導員について、具体的な説明を。

答 第一中学校では、陸上部と男子バレー部。仁科台中学では、陸上部と卓球部に指導員を配置しており、合計で年間680時間の指導を予定している。



一中バレー部指導の様子

■結果 賛成多数で可決

最終口頭論

賛成

いずれも速やかに取り組むべき施策だ

本補正予算は、子育て支援策や宿泊キャンペーンを含み重要である。企画財政課計上の広告料は、県内民放テレビ局の開局記念番組での広告。大町市の良いイメージを伝え認知度を上げることは市民の利益に繋がる。(山本)



みんなのひろば



ブリヂストンリテール長野
株式会社
タイヤセンター大町

にしざわ しょうま
西澤 将馬さん
小谷村出身

- ①お客様にも後輩にも優しく笑顔で接することのできる、一人前の人間になりたいです。
- ②おじいちゃんとおばあちゃんが、お寿司が大好きなので、お寿司をご馳走しました。
- ③豊かな自然や北アルプスの眺めと、なんとなく落ち着く大町の雰囲気が好きです。



北陽建設株式会社

やぐち れん
矢口 練さん
大町市出身

- ①上司にすごい人がたくさんいます。早く仕事を覚えて、国家資格をとり、上司の方々みたいになりたいです。
- ②両親と食事に行きました。後は友達とも食事に行きました。
- ③水がおいしくて、空気が澄んでいて、自然が豊かで、住みやすいところです。

市内企業の新規就職者に「聞く」

議員が市民のみなさまの声を取材してつくるみんなのひろばです。大町市の企業にお勤めのフレッシュな皆さんに、将来のこと、大町のことを聞きました。

- ①将来の夢は？
- ②初任給の使い道は？
- ③大町のいいところは？



松本信用金庫
大町支店

かわせ
川瀬 あすかさん
安曇野市出身

- ①イタリアに行きたい。そのためにも仕事を頑張り、充実した日々を送ります。
- ②元アルバイト先のイタリア料理店に親を招待しました。
- ③自然豊かでのどかなところです。



JA大北ときわ支所
金融共済課

まつい みき
松井 美樹さん
大町市出身

- ①人と人とのつながりを大切にしたい仕事をしたいです。
- ②両親に食器セットをペアでプレゼントし、大変喜ばれました。
- ③水や空気がきれいで、自然がいっぱい。親切な人が多いですね。

次回9月定例会予定

- 開 会 8月31日(火) 午前10時～
- 一般質問 9月 7日(火) ～9日(木)
- 最 終 日 9月22日(水) 午前10時～ 討論・採決

傍聴にお越しの際は

- 傍聴をご希望の方は、議会棟2階の議会事務局にお寄りください。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用をお願いします。

インターネットと市ケーブルテレビで放送しています。
録画・再放送もご覧いただけます。

大町市議会 議会中継

本会議の
生中継

あしがき

市長は今年2月、前期総務産業委員会が指摘・提案した「居谷里水源の改善策」を受けて、まず「動物から水源を守るための柵の整備」を約束した。そして今6月定例会ではさらに「水源構造の解明」と「地表水混入の危険性排除のため調査をする」と表明した。「コロナ禍で厳しい財政の中で、議会提案を重視した姿勢を評価したい。」
(高橋)